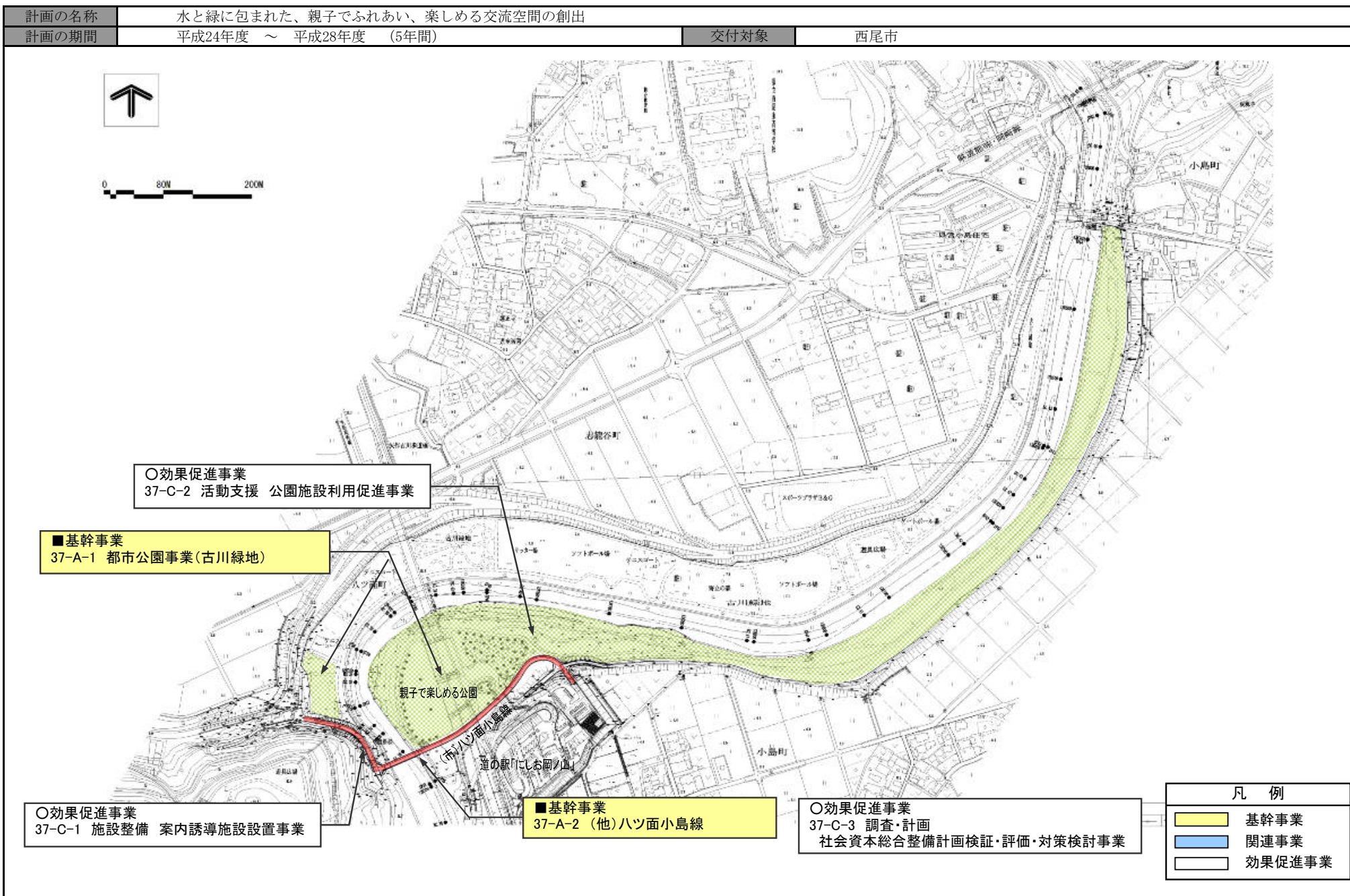


社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成 24 年 3 月 21 日

計画の名称	水と緑に包まれた、親子でふれあい、楽しめる交流空間の創出																												
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）			交付対象	西尾市																								
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・矢作古川左岸の河川敷にデイキャンプ場や散策路などを整備することで、食をとおして親子でふれあう交流の場を創出するほか、公園へのアクセス道路整備により、来訪者の誰もが安心・快適にアクセスできる交通環境を形成することで、隣接する道の駅も含めた古川緑地の一体的な魅力向上を図る。 																												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・古川緑地の左岸側に「親子で楽しめる公園」を整備することで古川緑地の一体的な魅力向上を図り、利用者数を53,000人（H23）から80,000人（H28）へ増加させることを目指す。 ・古川緑地の整備により道の駅「にしお岡ノ山」との一体的な賑わい創出を目指すとともに、古川緑地と隣接する道の駅「にしお岡ノ山」へのアクセス路を整備することで周辺地域からのアクセス利便性を向上させ、「親子で楽しめる公園」利用者の約2割が道の駅「にしお岡ノ山」に立ち寄り想定し、利用者数を424,000人（H23）から431,000人（H28）へ増加させることを目指す。 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H24当初)</th> <th>—</th> <th>(H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■古川緑地の利用者数(人/年)</td> <td>53,000</td> <td>—</td> <td>80,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■道の駅「にしお岡ノ山」の利用者数(人/年)</td> <td>424,000</td> <td>—</td> <td>431,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H24当初)	—	(H28末)	■古川緑地の利用者数(人/年)	53,000	—	80,000		■道の駅「にしお岡ノ山」の利用者数(人/年)	424,000	—	431,000	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																										
	(H24当初)	—	(H28末)																										
■古川緑地の利用者数(人/年)	53,000	—	80,000																										
■道の駅「にしお岡ノ山」の利用者数(人/年)	424,000	—	431,000																										
全体事業費	合計(A+B+C)	577百万円	A	570百万円	B	0百万円	C	7百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1%																			
参考様式2																													
交付対象事業																													
A1 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考												
											H24	H25	H26	H27	H28														
37-A-1	公園	一般	西尾市	直接	—	—	—	都市公園事業(古川緑地)	用地取得、施設整備等 A=8.6ha	西尾市						337													
37-A-2	道路	一般	西尾市	直接	—	市町村道	改築	(他) 八ツ面小島線	バイパス L=440m	西尾市						233													
合計											570																		
B 関連社会資本整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
										H24	H25	H26	H27	H28															
合計											0																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
										H24	H25	H26	H27	H28															
37-C-1	施設整備	一般	西尾市	直接	—	案内看板設置	案内誘導施設設置事業	案内看板の設置N=2基	西尾市						3														
37-C-2	活動支援	一般	西尾市	直接	—	活動支援	公園施設利用促進事業	デイキャンプ利用促進イベントの開催	西尾市						1														
37-C-3	調査・計画	一般	西尾市	直接	—	調査	社会資本総合整備計画検証・評価・対策検討事業	事後評価、対策検討	西尾市						3														
合計											7																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		
37-C-1	都市公園事業(古川緑地)(37-A-1)にて整備する「親子で楽しめる公園」や「道の駅(にしお岡ノ山)」へのアクセス道路としての機能を持つ(他)八ツ面小島線(37-A-2)の整備と併せ、各施設への案内誘導看板を設置することで、施設へのアクセス利便性の向上を図ることができる。																												
37-C-2	都市公園事業(古川緑地)(37-A-1)にて整備する「親子で楽しめる公園」内のデイキャンプ場等を活用したイベントの開催により、「親子で楽しめる公園」の魅力向上に繋がるとともに、施設の利用促進を図ることができる。																												
37-C-3	都市公園事業(古川緑地)(37-A-1)に関する事業の必要性、進捗状況、効果把握及び継続事業の可能性等を検討するとともに、整備計画の目標との整合性等との評価や今後の対策を検討する。																												

参考様式3



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称:水と緑に包まれた、親子でふれあい、楽しめる交流空間の創出 事業主体名:西尾市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○

I. 目標の妥当性

①上位計画等との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県西三河都市計画区域マスタープランにおいて、概ね平成32年までに整備する主要な都市公園の一つとして位置づけられている。 ・西尾市都市計画マスタープランの地域別方針において、古川緑地の魅力向上が掲げられている。 ・西尾市緑の基本計画において、河川と一体的となった自然散策の親水・親緑空間の形成を図り、緑の骨格として位置づけを強化していきっており、矢作古川周辺地域がさらに魅力ある緑地となると考えている。
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	上記理由と同じ
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	古川緑地の魅力向上を図り、隣接する道の駅とのアクセス路を整備することで、一体的な賑わい創出により利用者数が増加する。
②定量的指標の明瞭性	別紙参考資料
③目標と事業内容の整合性	古川緑地の魅力向上のための公園整備。 隣接する道の駅及び親子で楽しめる公園までのアクセス利便性を向上するためバイパス道路整備。
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	別紙参考資料
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	平成19年度の「親子で楽しめる公園」基本構想において、検討委員会が提言した公園基本構想図を始まりとして、市の主要事業として公園事業を具体化してきました。(事業の説明会、公園緑地の都市計画決定、事業認可など)
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	地元要望書(H21)、地元説明会

定量的指標等の設定根拠資料

社会資本総合整備計画の「定量的指標」について、当初現況値（従前値）と最終目標値（目標値）の設定根拠を整理する。

また、目標値の時点は、「定量的指標」「目標を定量化する指標」とともに平成28年度末とする。

なお、「定量的指標」及び「目標を定量化する指標」については以下の通りである。

指標1：古川緑地の利用者数(人/年)

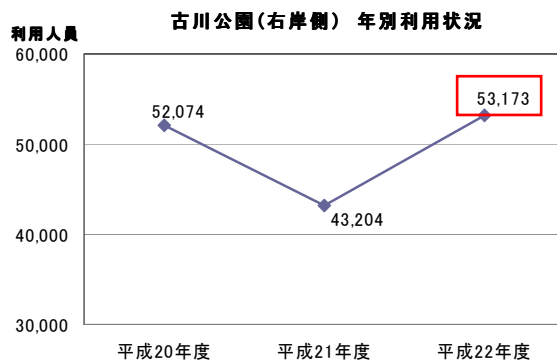
西尾市体育施設月別利用状況報告書のデータをもとに古川緑地の年間利用者数を整理し、指標の数値を算定する。算定式は以下の通りである。

(算定式)

古川緑地の年間利用者数（人/年）

【当初現況値 53,000（人/年）】

当初現況値は、直近の平成22年度の年間利用者数とする。



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
古川公園 (右岸側)	ソフトボール場	16,166	11,108	15,006
	テニス コート	6,837	6,933	6,876
	新テニス コート	3,178	3,478	4,597
	バウンドテニスコート	192	40	0
	バドミントン コート	388	82	0
	サッカー場	19,124	16,274	21,284
	ゲートボール場	4,500	5,085	5,410
	その他	1,689	204	0
計	52,074	43,204	53,173	

資料:西尾市体育施設月別利用状況報告書

【最終目標値 80,000（人/年）】

最終目標値は、平成22年度の利用者に本計画で整備する『親子で楽しめる公園（古川緑地左岸側）』年間利用者数を加算し算出する。

表 最終目標値の算定

項目	年間利用者数 (人/年)	備考
当初現況値 (平成22年度)	53,000	『親子で楽しめる公園（古川緑地左岸側）』の利用者数は、施設利用者をカウントするため、親子で楽しめる公園の想定利用者（34,000（人/年））をもとに、想定増加人数（次頁参照）を27,000（人/年）とし、当初現況値の53,000（人/年）に加算して算出する。
最終目標値 (平成28年度)	80,000	

【想定増加人数の設定】

想定増加人数については、『親子で楽しめる公園（古川緑地左岸側）』の想定利用者数のうち、経年的な利用者数の把握が可能と考えられる施設利用者を対象人数とする。そのなかで、整備する施設はデイキャンプ場など冬季利用が減少すると想定される施設であることから、施設利用者は、『親子で楽しめる公園（古川緑地左岸側）』の想定利用者に対し、季節型の3季と4季を平均した値とする。

「3季型：20,000人/年」＋「4季型：34,000人/年」÷ 2 ≒ 27,000人/年
--

【参考資料】

『親子で楽しめる公園』年間利用者数の想定

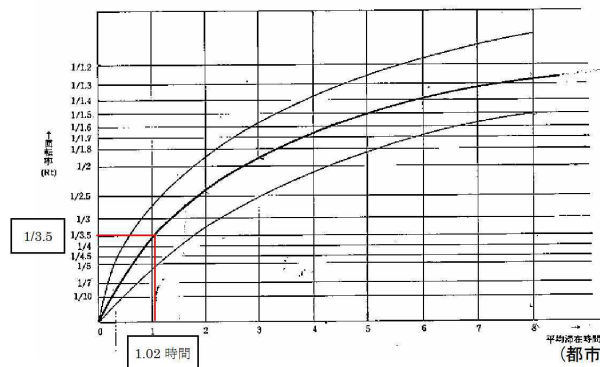
『親子で楽しめる公園』の年間利用者数は、面積規模から都市公園利用実態調査（地区公園）として想定する。

表-1 都市公園利用実態調査（地区公園）

		H13	H19	平均
休日	ha 当り最大時在園者数(人/ha)	35	53	44
	平均在園時間（時間）	1.01	1.03	1.02
平日	ha 当り最大時在園者数(人/ha)	50	25	37.5
	平均在園時間（時間）	1.12	0.75	0.94

(都市公園利用実態調査より)

表-2 平均滞在時間と回転率の関係

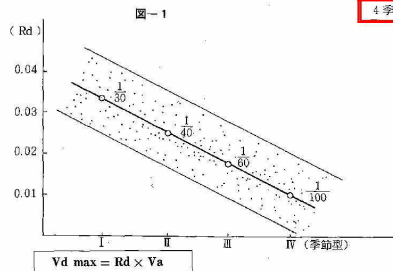


(都市公園利用実態調査より)

表-3 最大日率について

⑨ 最大日利用者数 (Vd max)
 最大日率 (Rd) = $\frac{\text{最大日利用者数 (Vd max)}}{\text{年間利用者数 (Va)}}$
 観光地の季節型と関係があることが経験上知られている。

季節型	最大日率(Rd)
1季	1/30
2季	1/40
3季	1/60
4季	1/100



(自然公園等施設整備技術指針より)

$Vd \text{ max} = Rd \times Va$

表-4 年間利用者数の算定

公園部分の利用可能面積(ha)	2.2	
休日のha当り最大時来園者数(人)	44	都市公園利用実態調査(H13,H19の平均値)
平日のha当り最大時来園者数(人)	38	都市公園利用実態調査(H13,H19の平均値)
公園部分の最大時来園者数	97	上表の休日の値
回転率	3.5	運動公園の平均在園時間とグラフより
最大日利用者数(休日)	340	公園部分の最大時来園者数(休日)×回転率
最大日率	1/100	4季型
年間利用者数(人)	34,000	

以上より、年間利用者数は、約3万4千人と想定される。

(1) 誘致圏



改訂第2版大規模公園費用対効果分析手法マニュアルでは、公園種別距離別累積利用率が下表のように示されており、誘致圏は、対象公園の施設内容と下表を照らし合わせて設定することとしている。

■公園種別距離別累積利用率

	5km 未満	5～10km	10～20km	20～50km	50～ 100km	100km 以 上
総合公園	55.3%	73.6%	85.1%	93.0%	95.4%	100.0%
運動公園	57.7%	75.0%	87.9%	95.8%	98.5%	100.0%
広域公園	33.1%	51.4%	72.0%	86.6%	93.0%	100.0%
国営公園	7.9%	19.5%	42.4%	72.6%	91.0%	100.0%

出所：国土交通省：都市公園利用実態調査

本検討においては、対象公園（西尾市古川緑地）の施設内容等を考慮し、総合公園で累積利用率が80%を超える20km圏内を誘致圏とする。

誘致圏 → 20km圏内

指標 2 : 道の駅「にしお岡ノ山」の利用者数 (人/年)

『親子で楽しめる公園 (古川緑地左岸側)』及び周辺の交通環境向上に向けた道路整備を行うことで、『親子で楽しめる公園 (古川緑地左岸側)』の波及効果として隣接する『道の駅「にしお岡ノ山」』の年間利用者数を整理し、指標の数値を算定する。算定式は以下の通りである。

(算定式)

道の駅「にしお岡ノ山」の年間利用者数 (人/年)

【 当初現況値 424,000 (人/年) 】

当初現況値は、直近の平成22年度の『道の駅「にしお岡ノ山」』における、「物産」、「売店」、「軽食堂」の延べ人数の年間利用者数とする。

	物産	売店	軽食堂	利用者
	利用者数	利用者数	利用者数	延べ人数
4月	17,569	16,354	3,758	37,681
5月	19,565	18,213	4,772	42,550
6月	15,934	16,204	3,917	36,055
7月	13,114	16,450	3,602	33,166
8月	15,384	18,331	3,966	37,681
9月	13,703	16,089	3,592	33,384
10月	15,644	16,240	3,747	35,631
11月	15,126	15,155	3,509	33,790
12月	14,987	15,044	4,116	34,147
1月	13,948	14,834	3,323	32,105
2月	13,486	14,022	3,289	30,797
3月	16,168	17,195	4,061	37,424
合計	184,628	194,131	45,652	424,411

資料: 西尾市体育施設月別利用状況報告書

【 最終目標値 431,000 (人/年) 】

最終目標値は、平成22年度の利用者に本計画で整備する『親子で楽しめる公園 (古川緑地左岸側)』年間利用者数が、周辺の道路整備によって古川緑地からのアクセス性が向上することにより、古川緑地の新たな利用者の約2割が『道の駅「にしお岡ノ山」』に立ち寄ると想定し算出する。

表 最終目標値の算定

項目	年間利用者数 (人/年)	備考
当初現況値 (平成22年度)	424,000	『親子で楽しめる公園 (古川緑地左岸側)』の想定増加利用者数は、27,000 (人/年)であり、そのうち4人に1人(約7,000 (人/年))が『道の駅「にしお岡ノ山」』に立ち寄ると想定し、当初現況値の424,000 (人/年)に加算して算出する。
最終目標値 (平成28年度)	431,000	

○定量的指標の最終目標値（H28 末）について

施設の供用が平成 28 年度末のため、目標値は推定目標値とする。

例 1) 供用後のイベント後の利用者数から算定をする。

例 2) 指標の算定式から推定値を算定する。

また、1 年間のトータル数については平成 29 年度に再度算定を行う。